

鶏肉情勢

令和元年7月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
生	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会6月下旬実施)によると、5月の推計実績は、処理羽数59,989千羽(前年比101.3%)・処理重量183.0千ト(同103.2%)と前年をともに上回った。種鶏改良がさらに進み、温暖な気候と相俟って育成後半の伸びも順調になったこと等もあり、主要産地である南九州地区が処理羽数(同102.7%)処理重量(同104.9%)ともに前年を大きく上回った。なお、生鳥処分は廃棄合計3.38%(前年差△0.26%)と今年に入り最も少なく、前年対比でも3月以降廃棄率は減少している。 (2) 6月~8月で、6月については処理羽数が前年並み(前年比100.1%)も重量が前年割れ(同99.7%)で供給が減少する計画となっているが、直近の育成状況も順調との報告から上振れの可能性が高い。7月は羽数(同103.3%)・重量(同103.6%)、8月においても羽数(同102.3%)・重量(同103.8%)ともに増加する計画となっている。例年であれば夏場の暑熱対策で坪羽数を減らす時期ではあるが、新規農場の稼働や回転数の増加などで生産量が伸び、増体も良く供給増加が見込まれる。不需要期に入り消費動向次第では再び供給過多が懸念される。
	2. 輸入 (1) 財務省が6月27日公表した貿易統計によると、5月の鶏肉(原料肉)輸入量は46.6千ト(前年比98.8%)で、日本食肉輸出協会の予測(46.5千ト)とほぼ同数となった。同協会(6月19日取り纏め)によると6月45.5千ト(同103.7%)・7月46.2千ト(同101.2%)と予測されており、「鶏肉の国内の動きは国産品、輸入品とも良いとは言えない状況。ブラジル産の日本向けの相場は依然高いが、中国向けの相場が若干落ち着いたこともあって、今後は次第に落ち着いてくるものと思込まれる。タイ産も中国向け輸出量が大幅に増加し、日本向けオファー価格が上昇してきており、この傾向は当面続くものと考えられる。」とコメントしている。アフリカ豚コレラの影響等もあり中国からの調整品が減少する可能性もあるなかで、輸入品の価格上昇が国内相場にどの様に影響するか注視が必要と思われる。 (2) 鶏肉調整品の5月輸入量は41.0千ト(前年比97.1%)と、前月より3.8千ト減少した。中国産が15.5千トで前年比83.2%と減少し、前月からも1.5千ト減少。タイ産は前月から2.2千ト減少したものの24.9千ト(同106.8%)と前年を上回った。1-5月累計で前年比103.7%となっているが、中国国内で鶏肉の需要が高まっているとの報道もあり6月以降も減少傾向が続くのか注目される。
産	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、4月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量3,893g(前年比95.9%)金額5,745円(同97.4%)とすべての畜種が前年を下回った。大型連休前の消費動向にバラつきがあり、気温も前年に比べ低い日が多かった等も数量減の要因に挙げられる。また量販店等で改元を祝うメニュー提案等が多数見受けられたが集客に苦戦し金額面でも下回った。鶏肉についても購入頻度は前年を上回ったものの、数量については13か月ぶりに前年を下回り1,365g(同99.0%)、また金額1,271円(同99.2%)も僅かに下回った。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、5月の畜産部門の売上高は1,033億円で全店ベースで前年をやや下回り(99.8%)、既存店ベースでは98.5%と減少した。「GW期間中は、新元号の祝いムードも重なり高単価商品が好調となった一方で、輸入肉は不調となった。牛肉は気温の上昇や行楽需要でステーキ・焼肉用の動きがよかったが、うす切り肉は苦戦した。豚肉は国産相場がやや高騰しており、不調とする店舗が多い。鶏肉は相場安となっており、単価が下落しやや不調となった。」と報告されている。全店ベースで青果(同101.1%)・水産(同101.2%)は前年をやや上回ったのに対し、惣菜は天候に恵まれた地域が多く、米飯・寿司類およびおつまみ類が好調に推移し、前年比102.9%と大きく上回った。
需	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べによる4月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比105.0%の5.09千ト。うち国内物は同108.0%の4.24千トと前年を大きく上回ったものの、その反面輸入物が同92.3%の0.85千トと下回った。1-4月累計では輸入物が同110.6%と前年を上回っていたが、国産原料が見直されつつあるのか注目される。サラダチキン向けの需要が停滞ぎみとの報告もある一方、鶏肉加工品は5月以降もさらに需要が増加すると思われ、国産むね肉価格が比較的低位で安定していることや、国産志向や味の面から国産むね肉での製造が増加することを期待したい。
	1. 31年4月 (1) 推計期末在庫は国産30.74千ト(前年比118.6%・前月差+3.09千ト)、輸入品122.42千ト(同84.5%・同△2.26千ト)と合計で153.17千ト(同89.7%・同+0.83千ト)となった。生産量が2.5千ト増加し、輸入量も7.7千ト増加した。国産品の出荷量が生産量を下回ったため、国産品の在庫が増加した。輸入品は出荷量が4.61千ト増加の49.53千トとなったため、前年比でみると84.5%と大幅減少となった。
在	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月26日公表)では、5月は国内生産量が前月比で2.1千ト減少し輸入量も前月比で0.8千ト減少となっている。出荷量はほぼ前月並みが見込まれるため、期末在庫は152.8千ト程度と在庫は若干の減少見込みとなっている。 (2) なお、6月は前月比で生産量が2.0千ト減少、輸入量もブラジル中心に1.0千ト減少し、出荷量も1.6千ト減少することから期末在庫は国産・輸入品合計で1.9千ト減少の150.9千ト(前年比90.9%)の予測。7月は生産量が4.1千ト減少も、輸入量がブラジル中心に0.7千ト増加、出荷量が9.5千ト減少することから、在庫は4.3千ト増加の155.2千ト(前年比92.4%)と上回る予測となっている。
	1. 6月動向 (1) 6月の平均相場は、もも肉561円/kg(前月比22円下げ)・むね肉226円/kg(同1円下げ)、正肉合計で787円/kgと前月比23円下げで前年比でも49円の下げとなった。もも肉は月初め570円台があったものの、その後下げ基調となり月末は550円となった。むね肉は、加工向けには一定需要はあるものの、量販店等の惣菜向けや特売需要等が盛り上らず月初226円・月末222円とはほぼ保合い圏内で推移した。
相	2. 7月見通し (1) 気象庁の1カ月予想では、気温は平年並みかやや高く、梅雨ということもあり曇りや雨の日が多く降水量も平年より多いと予測されている。イベント等も少なく、後半には夏休みが控えているため消費の伸びも期待できな思われる。もも肉は下げ基調は変わらず月平均で550円と予測。むね肉については、加工やサラダ向け等加工筋の引合いも増加してきたことから若干の強保合い圏内の230円と予測する。

実績

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	R元年5月推計実績		R元年6月計画		R元年7月計画		R元年8月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	61,540	102.1%	57,638	98.6%	60,785	101.7%	64,989	99.9%
処理羽数	59,989	101.3%	57,186	100.1%	57,420	103.3%	57,399	102.3%
処理重量	183.0	103.2%	171.0	99.7%	168.9	103.6%	167.6	103.8%

※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向 単位:千トン、%

履歴	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H31年2月	41.5	46.7	88.8	35.4	37.0	95.6	76.9	83.7	91.8	53.9	46.1
H31年3月	39.6	43.4	91.1	42.5	36.1	118.0	82.1	79.5	103.3	48.2	51.8
H31年4月	47.3	49.6	95.4	44.8	41.6	107.7	92.1	91.2	101.0	51.3	48.7
R元年5月	46.6	47.1	98.8	41.0	42.3	97.1	87.6	89.4	98.0	53.2	46.8
R元年累計	216.8	235.1	92.2	206.2	198.8	103.7	423.0	433.9	97.5	51.3	48.7

※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額			相場(年別・暦年) 単位:円			
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		もも肉	むね肉	計
H31年2月	1,397	1,342	104.1	1,298	1,306	99.4	H25年	583	246	829
H31年3月	1,428	1,345	106.2	1,332	1,320	100.9	H26年	626	294	920
H31年4月	1,365	1,378	99.1	1,271	1,281	99.2	H27年	639	336	975
H31年平均	1,405	1,362	103.2	1,312	1,324	99.1	H28年	621	255	876
							H29年	626	315	941
							H30年	595	282	877

※参考資料: 総務省統計局HP

在庫状況 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H31年1月	27.5	28.2	97.4	134.7	150.7	89.4	162.1	178.9	90.6
H31年2月	28.8	27.0	107.0	130.0	160.0	81.3	158.9	187.0	85.0
H31年3月	27.7	28.4	97.3	124.7	148.1	84.2	152.3	176.6	86.3
H31年4月	30.7	25.9	118.6	122.4	144.8	84.5	153.2	170.7	89.7

※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別) 単位:円、%

履歴	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H31年3月	628	637	98.6	238	305	78.0	866	942	91.9
H31年4月	601	608	98.8	232	295	78.6	833	903	92.2
R元年5月	583	585	99.7	227	282	80.5	810	867	93.4
R元年6月	561	564	99.5	226	272	83.1	787	836	94.1
R元年7月	(550)	548	100.4	(230)	265	86.8	(780)	813	95.9
R元年8月	(540)	539	100.2	(230)	263	87.5	(770)	802	96.0
R元年平均	612	622	98.4	242	295	82.0	854	917	93.1

※()は見通し

※1-6月平均